

# あいわしぼりカップ



3/10(日) 11(月) 12(火)



川崎スポーツ

## レース展望

3月10日からの川崎競輪はナイター開催。ガールズケイリンも含めた全12レースで構成される。

A級1、2班戦は突出した存在が無く接戦となりそう。各地区の戦力差も拮抗している印象。地元南関東地区は苦戦を強いられそう。機動型が極端に少ないため、岡本英之(千葉85期)が自ら捲ることもありそうだが、落車から復帰して状態がどこまで戻っているか。北日本勢も同様に機動型不足。予選から佐々木孝司(青森84期)あたりが勝ち上がりやすいが、ベテラン岡部芳幸(福島66期)も自分で戦うことになる可能性はありそう。関東

勢は幸田望夢(栃木115期)を中心に、自在性もある水森湧(東京117期)が揃い若干だが他地区よりも戦力はリードか。遠征勢は中部、近畿からのあっせんだが、中近ラインとして一枚岩になって挑めば戦力は一気にアップ。重倉高史(富山95期)をはじめ、堀兼壽(岐阜105期)や小笹隼人(奈良105期)、岸川哲也(大阪105期)らが揃う。ずば抜けた存在が無く優勝争いが混沌としている今シリーズは、各ラインどれだけ厚みを持って決勝進出できるかが鍵となりそう。

チャレンジ戦は佐々木祐太(岩手123期)、竹澤雅也(福井123期)の新人2人を筆

頭に、強力なまくりを持つ小樽佑弥(新潟121期)も揃う。南関東勢は前期2班の桜井大地(静岡111期)と、地元吉川誠(神奈川86期)が若手相手にどこまで応戦できるか。

ガールズケイリンは坂口楓華(愛知112期)、奥井迪(東京106期)のトップクラスの機動型2強を相手に、自在な藤田まりあ(埼玉116期)や廣木まこ(福岡118期)らがどのように応戦していくか。地元ホームバンクの保立沙織(神奈川118期)の奮闘にも期待したいところだ。

傑出者が不在でV争い接戦

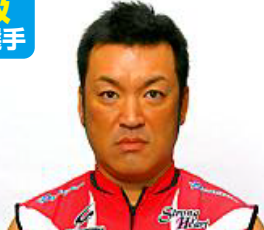
A級 主力選手



**幸田望夢** 栃木 115期

近年はS級とA級の昇降級を繰り返しているが、ダッシュ生かした機動力は高くまだまだ伸びしろは十分な24歳。父は長年S級で活躍していた光博(67期)。今後の努力次第で化ける可能性はある。まずはしっかりとA級で結果を残して、S級に復帰したいところ。

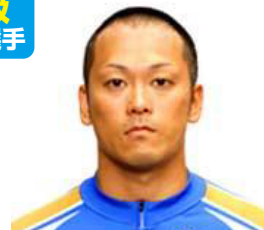
A級 主力選手



**岡部芳幸** 福島 66期

タイトルホルダーであり、昨年は通算五百勝を達成するなど、競輪界トップクラスで活躍し続けた北のレジェンド。今期もA級戦での戦いとなるが、まだまだ往年のタテ脚は健在。北日本の機動型が手薄な今シリーズは、自ら捲りを繰り返す場面も十分にありそう。

A級 主力選手



**重倉高史** 富山 95期

基本的にコメントは「できる事をやる」と謙虚な姿勢だが、しっかりとレースを作りに行く度胸と、いざとなれば何でもこなせる柔軟性が魅力の選手。A級でも変わらないスタイルで活躍を続けている。今シリーズも遠征勢の中核として連日フル回転の走りを見せるはず。



A級 注目選手

**小樽佑弥** 新潟 121期

1月にも当地を出走している小樽佑弥だが、残念ながら2日目以降は体調不良で欠場。しかしながら、初日予選で積極的な走りを見せ白星を挙げておりバンクとの相性は良さそう。ルーキーをはじめ強敵は揃うが、機動力を発揮して今回は優勝争いに参加して欲しい。



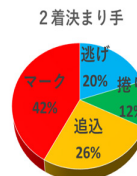
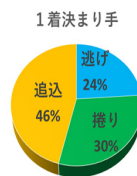
ガールズ 注目選手

**坂口楓華** 愛知 112期

まだ大きなタイトルは手にしていない坂口楓華だが、昨年は2度目のGP出場を果たすなど、トップクラスの選手。今年も2月時点で賞金ランキング上位に位置しており、好スタートを切っている。勝負所での思い切りもあり、パワフルな自力で優勝を狙う。

### 川崎競輪場バンクガイド (2023年10~12月データ)

1年の改修工事を経て、昨年10月からリニューアルした川崎バンク。12月まで363レース(ガールズを含む)を終えた段階の1・2着の決まり手データは表の通り。基本的に構造は旧バンクを踏襲したもので、逃げ・捲り・差し・マークについて、それぞれのパーセンテージは以前と変わりはない。ただし1着に限って言えば、逃げ・捲りの決まり手が54%と過半数越えて、自力型のアタマから組み立てていく車券戦術が可能だろう。川崎名物イエローライン付近の強襲コースは、バンク改修により最終4コーナー走路をスムーズに回ってくるようになり、前団選手の失速が少なくなったため、今のところは出現率がそれほど高くない印象だ。



競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル